會津若松
市政だより

発行所
福島県会津若松市栄町
会津若松市役所
編集兼発行人　小林藤作
定価　5.00
1月号

人口動態

（1月1日現在）

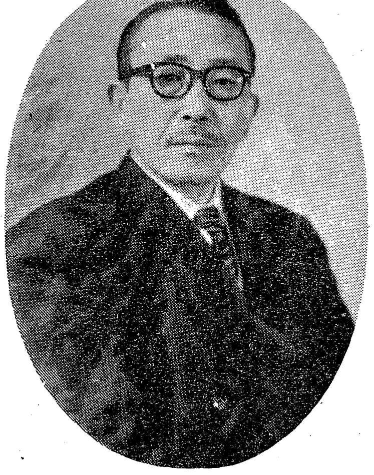
世帯数	19.133	（＋　14）
現在人口	98.026	（＋　39）
男	46.905	（＋　47）
女	51.121	（－　8）

（12月中）

出生	158	死亡	69
転入	300	転出	350
婚姻	137	離婚	6

新市建設基本計画を実施

市長　横山　武



年頭の言葉

市民のみなさま明けましておめでとうございます。

かがやかしい昭和三十三年の年頭にあたり皆様の御多幸を心からお祈り申上げますとともに、私の所感と決意の一端を述べて皆様の御理解ある御協力をお願い致したいと思います。

かえりみます時に戦後十二年間の本市の歩んだ道は甚だ起伏に富んだものでありましたが、この厳しい試錬に耐えて成長して参りました市政と、これを擁護してまいりました市民の自治意識とを想起致します時に本市の未来に大きな力と希望を禁じ得ないものであります。

とりわけ全国的な地方財政の貧困下にさらされながらも、幾多の尨大な事業と取くんで遅々たる歩みではありましたが、前進して参りました事は洵に御同慶に堪えないところであります。

こゝに合併後四年目を迎え凡ゆる意味で飛躍的な発展のために巨歩をふみ出さなければならない年であると信ずるものであります。

と申しますのは昨年新市建設審議会の席上で答申を頂きました「新市建設基本計画」に則り、忠実に本市発展のための行政に邁進する決意であります。

申すまでもなくこの基本計画は合併によって膨脹した面積、人口に対し、合理的、能率的な行財政を施行することになり消費的な経費の節減をはかり、十万市民の福利増進のための投資的経費に充当し、総合的な開発と建設を促進するものであります。

この中におきまして本年実施致したいと考えます政策の概要について申上げたいと思います。

まず農業施策につきましては農業経営の多角化、合理化を促進することであり農業機械の貸付をはじめ、融資の長期化、家畜の導入更に国有林野の払下げ、文化活動に至る広範囲の施策に着手したいと考えており、このためには農協をはじめ各種農業団体の育成強化をはかってこれと協調して行くと共に、昨年実施致しました農業祭をより充実させ、全市を総合した新しい市民意識と精神結合をはかり度いと思います。

次に商工観光施策につきましては、観光会津をより広く全国に紹介すると共に特産物にはより一層の郷土色を盛り、更に会津まつりなどの諸行事を盛大に催し季節的人口の集中と購買力の吸収とを目標におき、物産的見本市等を開催して販路の拡張を図らねばならないと思うのであります。

更に中小企業に対しましては技術の指導と平行し機械類の貸与、長期低利の融資の拡充に万全の策を講じて行きたいと思います。

更に進んで本市観光開発の一端として観光ルートの整備、芦の牧の開発、市営温泉会館の建設、野岩羽線の開通など計画中に盛られてありますが、本年は先ず多年の懸案であった駅前広場の拡張に着手し、会津若松市の玄関として恥かしからざるものにしたいと念願するものであります。

更に教育施策については先ず老朽校舎の改築に着手したいと思うのでありますが、市立の城西、永和、門田の各小学校の校舎は明治中期に建設されたもので、すでに五十年以上の歳月を経ており、洵に危険極まりないものでありますので、万難を排してこの建設事業を実施する決意であります。

只これがため他の学校の施設の拡充整備が割愛されることも予想されますので予め御諒承願いたいと思います。

又一方会津短大の総合大学化の第一段階として家政学科を設置すること、県立会津若松農業高校の設立なども市民の世論を尊重しつつ推進する覚悟であります。

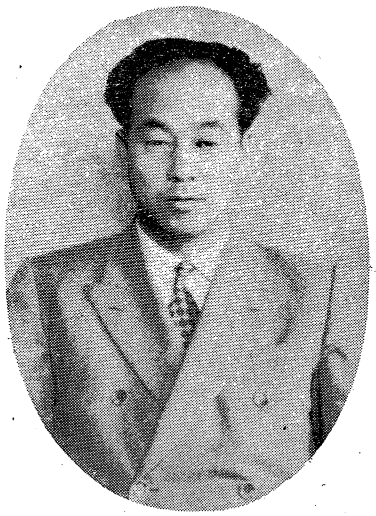
更に文教施策に関連して懸案の公会堂の改築問題に着手したいと思いますので、十万市民の絶大なる支援をお願い致したいと思います。

最後に本年は国民健康保険制度を全市に実施すべき年であり、更に道路の鋪装改修など、又市民の福祉諸施策等についても多々申上げたいことがございますが、今後凡ゆる機会を通じて皆様の御理解をお願いする所存であります。

どうか市民のみなさんにおかれましても、これらの計画の遂行に対し限りなき御支援と御協力をお願いしまして私の年頭のことばと致します。

本年の議会に寄せて

市議会議長　磯田政吉



新年に際して

年頭に当り過去を顧み、明日への指標を樹て、市政に新しい繁栄をもたらすことを市民の皆様と共に心からお祈りするものであります。

議会における吾々の職務は、任期余すところ僅かにして今年こそは最後の奉仕とも云うべきときであります。

これがため、議員一丸とする態勢の下に市民の皆様から寄せられました希望の具現に奮起すると共に新年を期し、更に新しい構想を描き、大都市建設に資する考いでおります。

一躍産業並びに観光都市として一大発展を見るに到りました本市にとっては、先ず以って駅の拡張が必要とされるので、漸くにして前進を見ました駅前広場拡張と商店街建設に総力を結集し、実現を期したいと思います。

市の基本財産の造成策としては、国有林野の開放による営林事業の推進を図ります。教育文化面においては、会津女子高校の改築、定時制農業高校独立校舎設置、テレビ中継放送局の誘致、交通或いは道路開発として野岩羽線鉄道全通並びに東山〜白河を結ぶ道路開発促進に拍車をかける外、全市の国民健康保険制度、敬老年金制度の実施を目ざし、社会保障の強化をはかり、更に衛生施策として塵芥並びにし尿処理場の設置等に特段と力を注ぎたいと思います。

以上が議会において多年の懸案としてこれが実現化のため活動を続けている主なる問題でありますが、独り議会の力のみでは決して実現を期し得ない次第でありますので、市民各位の絶大なる御協力を御願い致します。

こゝに、本市にとって希望をもって打ち樹てる年を迎え、覚悟を新たにし職務に専念致したいと存じます。

あけましておめでとうございます

会津若松市
消防本部
消防署

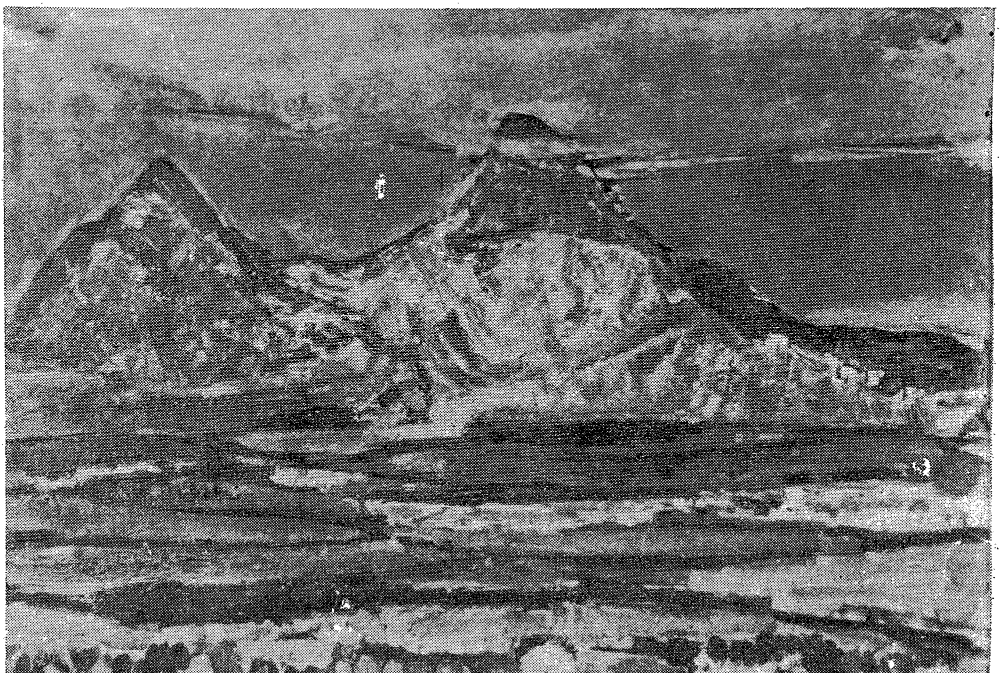
無火災月間
1日より31日まで

消防団
消防団後援会
危険物安全協会

大戸中に特別教室

工費一八三万円

大戸中学校の特別教室増築事業は去る十二月二十日竣工しました。建物は木造モルタルトタン葺二階建延五十七坪で、音楽室、図書室、資料室、物置の四室が一八三万円の予算を以って見事に完成し、生徒の喜びはもちろんのこと、大戸町地方の文化の一中心としてこんごの発展が期待されるわけです。



新春磐梯　佐藤辰次筆

謹賀新年

会津若松市役所
市長　横山　武
助役　森　武
外職員一同

会津若松市議会
議長　磯田政吉
副議長　四家豊治
議員　木村長一郎
〃　佐久間清
〃　矢内三治
〃　秋月鏡観
〃　鈴木政江
〃　小川茂喜
〃　福西健次郎
〃　渡辺重一
〃　斎藤四郎
〃　大竹丑蔵
〃　羽染彌吉
〃　成田延八
〃　馬場尚一
〃　川瀬一蔵
〃　磯貝義恵
〃　猪俣良記
〃　池部盛寿
〃　五十嵐豊作
〃　古川佐寿馬
〃　半沢半六
〃　渡部静江
〃　吉川景亮
〃　大関徳四郎
〃　大盛正善
〃　松川常三郎
〃　鹿目仁久
〃　二瓶頼一
〃　大須賀英一
〃　高橋直幸
〃　岸　久吉

国民健康保険を全市に実施

がいせつ　健康保険条例を議決

十二月定例市議会

12月16日招集

十二月定例議会に提案された諸案件は、全市一齊実施の計画による、国民健康保険実施条例案を始めとし、条例関係十件、其の他予算以下十八件、建議案・請願等九件で、これら議会に付議された諸案件は、五日間に亘り審議され、それぞれ議決されました。その主なる内容は次に掲げる通りであります。（議会事務局）

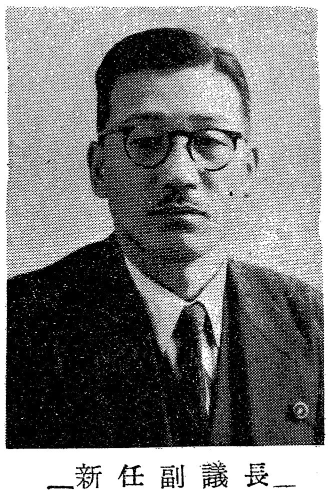
副議長に四家豊治氏

商工農林委員長に福西健次郎氏

去る十二月の定例議会において、副議長磯田政吉氏の議長昇格に伴い、その後任として、新副議長に四家豊治氏が選任されると共に、総務常任委員会の委員であった福西健次郎氏が同委員会を退き商工農林常任委員会の委員長に選任されました。また、次の通り議会選任の人事について改選がありました。

臨時出納検査立会人　斎藤四郎

選挙管理委員会
委員　丸山源栄
　　　簗取菊蔵
　　　林直治
補充員　澁川久三
　　　　佐藤甚吾
　　　　岸宗五郎



＝新任副議長　四家豊治氏＝

—請願—

都市住宅地域に指定方

外市道鋪装等七件

市民から十二月定例議会に提出された請願は八件で、何れも願意の趣旨当然と認められ、早急実行に移すよう取計るべきであるとされ、採択と決定されました。ただ、葵ケ丘・米代市営住宅・厩町・湯川町一帯の住民の方から提出された同地域内の準工場地区を住宅地域に指定替えの請願は議会最終日の提出であり、更に現地調査の上、議会閉会中検討を加えることになりました。

採択された請願
◎大町名子屋町鋪装
◎原之町市道鋪装
◎石堂一丁目鋪装
◎一箕・日新・謹教小学校増築

—建議—

敬老年金制度

早急計画立案

今議会に建議案として、敬老年金制度の早急計画実施の要望が提出され、本件は近時輿論がたかまり、現に各地において実施、あるいは計画されておる事情にあるところから、当市においても社会保障制度の一環として、この制度を実施すべきであるとされ、これが議決を見ました。

東山中を二中に統合

四月一日から実施

合併後の教育施策について検討中のところ、教育効果の向上と教育行政の円滑を図る上において、東山中学校は二中に統合することが望ましいとされ、東山中学校を廃止することに議決されました。

なお、東山中学校の現状は、生徒数一八九名、学級数六、教員数一一名であります。

要旨

本市の国民健康保険制度は、合併の際、以前より実施しておりました、門田と一箕地区の健康保険を引継いで、二地区に限り継続実施しており、一部実施の形でありましたが、いよいよ、去る十二月の定例議会において全市域に亘り、その保健制度を実施する条例が議決され、今年四月一日から施行されることになりました。

その実施方法を規定した基本となる条例は、「国民健康保険条例」と「保険税条例」の二つで、前者の条例は、保険制度の運営方法を規定したものであり、後者の条例は、保健加入に對する納税の義務、税率、徴収方法等を規定したものであります。

国民健康保険関係条例

先づ、運営について規定された条例の主なる内容を申上げますと、◎市長のもとに、保険事業の運営を審議するために、保険運営協議会を設けられます。その協議会の構成は、被保険者を代表とするもの五人、医師、歯科医師、薬剤師代表から四人、公益代表より五人を選びその任に当られます。◎加入者の範囲は、本市の区域内の世帯主及びその世帯に属する者、但し、健康保険法によって他の保険に加入している者等は除かれます。◎保険給付の種類は、療養費、助産費、葬祭費の三種類。◎各給付の額は、療養の場合はその費用の半額支給、助産費・葬祭費として各千貳百円支給。◎保健施設として、伝染病、健康診断、母性及び乳幼児の保護、栄養改善等の健康増進に必要な施設を設けることになっております。

保険税

次に保険税条例の設定趣旨並びにその規定の内容は、社会保障の上から考え、市民保険制度を維持育成することは、市民としての一つの義務とすべきであるとされ、被保険者に対して保険税を課すことに規定されました。◎その被保険者に課する税額は、所得割、資産割、被保険者均等割、世帯別平等割の方法により算定されます。◎賦課期日は、四月一日で、納期は、一期五月一日～三十一日、二期八月一日～三十一日、三期十一月一日～三十日、四期二月一日～月末となっております。

新春ルポ

名刺交換会

毎年恒例の名刺交換会は去る一月一日正午から、公会堂が利用出来ないため会津工業高校において華やかに取行われました。この日市長をはじめ、市内の名士を交えて市民約五百名が一堂に会し、旧交をあたゝめ、昭和三十三年の門出をたがいに祝福し合いました。

新年俳句大会

市内の俳句愛好者による新年俳句会は四日午後一時から、公民館において行われましたが、この日昨年県の文化功労賞を受賞された新城杏所氏をはじめ市内俳人三十名が集り、雑詠五句及び新年雑詠二句を持ち寄って開催されました。

当日の秀句は次の通りです。

雑詠の部
○人杖の友の掌温く息白く　杏所
○そくそくと米磨ぐ音が雪誘う　旗男

新年雑詠
○大初日折目の深き国旗掲ぐ　千代八
○去年今年なく大釜に湯のたぎる　世史朗

風雪下の十日市

本市名物の十日市は去る十日、神明通り、大町七日町等を中心に催されました。この日雪を交えた突風が市中を吹きまくりましたが、近在から集って来た人は七、八万を数え、名物のだるま、風車、おきあがりこぼしをはじめ、各店々では声を大にして風雪下の商戦が華やかにくりひろげられた様はさすが観光会津の名物十日市の貫録充分なものがありました。

なお旧の十日市は来る二月二十八日に行われることになっております。

正しい申告、明るい納税

市民税　基礎資料の調査

調査員が各家庭を訪問

昭和三十三年度の市民税の基礎資料とするため、目下市の財務課員が各家庭を訪問しております。

これは税を正しく合理的に市民の納得のゆく課税をするために、戸別毎に調査するものです。ですから調査員が参りました際は出来得るかぎりわかり易くありのままを御説明下さい。内容をいつわったり、或いはかくしたりされますと他との均衡を失ったり、或いは推定で課税されたりすることにもなりかねないので御承知下さい。

なお、調査内容は次の通りです。

1、家族の構成について
2、職業及び所得の状態について

（市民税係）

"もうお済みでしょうか"

償却資産の申告

先月の市政だよりで申上げました通り、昭和三十三年度の償却資産の申告は来る一月三十一日までになっておりますが、該当者で未提出の方が相当あります。この申告につきましては法でその義務がはっきり定められておりますので期限日に必らず申告して下さいます様お願い致します。

なお、内容についておわかりにならない点があったり、申告用紙を紛失されたりした場合は財務課固定資産税係までお出で下さい。

（固定資産税係）

渇水期と凍結防止

寒さの到来と共に水道は凍り勝ちになります。又一方冬は雨が少く配水池の水は減少してしまいます。

こうした二つの悪条件が絡む嚴寒がやって来ましたので、夜間の常時放水は最小限度（ぬり箸程度）にし或いは地上露出部分にはわらや布で覆うとか、このピンチを切りぬけるために是非御協力下さい。なお、事故が起りました際は至急水道課（電話八五四番）に御連絡下さい。

三坪以上は申告を

★＝家屋の増改築＝★

去年十月頃より固定資産税係において異動家屋の調査を行って参りましたがその結果、家屋の新築はもちろん増改築に際して未届けのものが相当見受けられました。

家屋の増改築につきましては三坪以上にわたる場合は必ず市の工務課又は各支所を通じて土木事務所に申告をしなければならないことになっておりますので、お間違いのない様御注意下さい（固定資産税係）

本市市政だより第三位に！

県下廣報紙コンクール

県下広報紙コンクールは、去年十二月二十三日県の自治会館で行われましたが、本市市政だより（八月号）は、福島、郡山の両市に次で第三位となりました。

これ一途に市民のみなさんの日頃の御支援御協力の賜であり、厚く御礼申上げますと共に今年は是非一位を確保すべく努力致します

会津競輪臨時従業員募集

旧本丸より小田垣地域に移転設置になりました新会津競輪場も雪解けを待って再開することになりましたので、近く臨時従業員を募集致します。

なお、詳細については決定次第回覧板、その他でお知らせ致します。

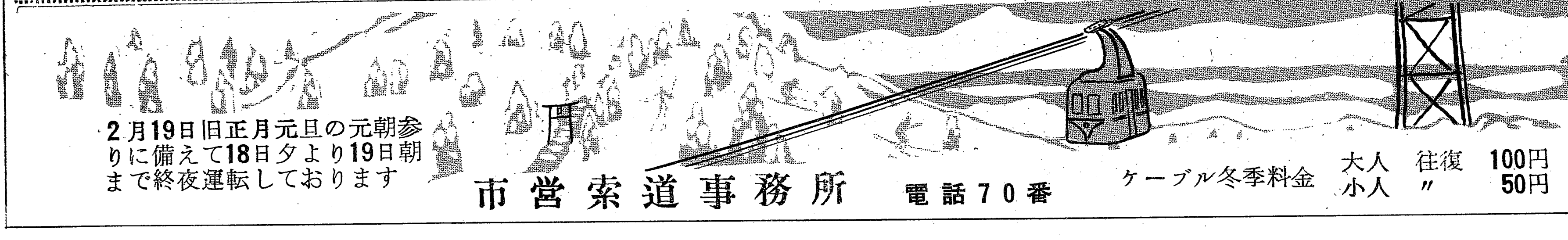
× × ×

一、募集人員　約三〇〇名
一、募集期間　二月一日より三月上旬の予定

お知らせ

國民健康保険係が移轉

元財務事務所あとへ
（市教育委員会の隣）
電話78番



2月19日旧正月元旦の元朝参りに備えて18日夕より19日朝まで終夜運転しております

市営索道事務所　電話70番

ケーブル冬季料金　大人　往復　100円
　　　　　　　　　小人　〃　50円

新しいスタート

成人の歌も高らかに

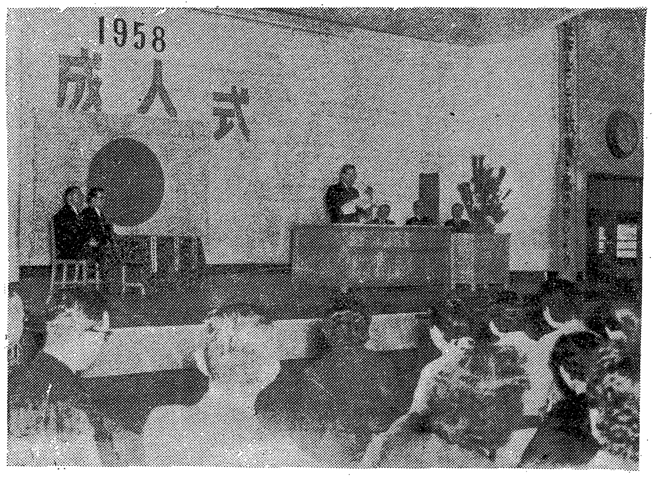
参加者一、四〇〇余名

成人式

昭和三十三年に満二十才を迎える本市の青年男女は、一、七二九名であり、一月十五日の成人の日には謹教小講堂に、湊地区を除いた全市の成年者中、一、四〇〇余名が参加して厳粛に挙式されました。式は教育長の成人の意義を説く挨拶から始まり、市長、教育委員長の式辞で、青年の立場、成人の責任を説かれ、市議長、県教育長、市社会教育委員の祝辞、記念品贈呈、成人文芸作品発表授賞青年学級終了証及皆勤賞の授与が手際よく行われ、成人の歌、市民の歌を高らかに合唱して式を閉じました。

式後藤沢和夫氏の記念講演があり正午散会した。

当日はあいにくの小雨にもかかわらず、成人式参加の青年はどしどし詰めかけ定刻午前九時には、さすがの謹教小講堂を狭く感じられたほどで、新調の服の胸を張って、誇らしく祝ってもらえた一日でありました。



〃成人式アラカルト〃

〇マイクの調子が悪く、後の方へよく透らずに不平が出たのに閉口しました。

〇映画館の協力により全市割引きで、当日は殆ど満員でした。

〇通知の来ないお小言たくさん。ただし住民登録をしてないのがほとんどでした。住民登録の制度を周知徹底する必要がここにもあります。

〇服の新調、初めてパーマネントをかけた人、成人式はおとなの仲間入り出来る日、といった形に理解され、赤飯で祝ってもらえた商店や家庭がグンとふえて来たことはうれしいことです。

市民の声

【問】会津若松市における糞尿處理に對する料金は、他市に比して高過ぎるように思われますが、市當局としてはどのように考えておられるか。

糞尿汲取料は一斗十二円です

【答】御質問の各家庭の糞尿処理につきまして、当市の場合二つの会社が行っており、処理料金につきましては当局としても研究の結果、一斗につき十二円五十銭に許可したが、両清掃会社とも、協定料金一斗十二円として運営しております。

参考迄に他市に於ける汲取り料金一斗当りを見ますと、札幌市九円、足利市十円、高崎市十二円五十銭、諏訪市十円、行田市十円、室蘭市十一円五十銭、弘前市十円となっており、料金が当市のみ高いと云う事は考えられません。又人間の糞尿排泄量は全国平均を見ますと、一人一日につき平均五合五勺で、一カ月に一斗六升五合の排泄となり、此れを当市に於ける一斗十二円の割で計算しますと、一人一カ月に糞尿汲取料金は十九円八十銭と云う数字が出ている現状です。ただ各家庭の中には便所の壷に地下水又は雨水等が浸入し、量が増加する所がありますから、量に不審を抱かれる場合、一応調査をして戴きたいと思います。

又糞尿汲取りにつきましては、毎月一回とか二カ月に一回等を各家庭で定期的に汲取り日を決めて戴き、なお、汲取りの場合は立ち会って戴く事が一番良い事だと思います。

なお、不審な場合は直接市役所保健衛生課まで御連絡下さい。（保健衛生課）

高松宮様も御來訪

雪の背あぶり大モテ

待望の雪がどっと降り、スキーヤーは大人も子供も大喜びです。快晴の日曜など背あぶり山は内外のスキー客でごった返しの有様です。

スポーツの宮様として国民から親しまれている高松宮様は、十三日午前十一時十九分着の列車で会津若松においでになり、空中ケーブルで背あぶりに登り、スキーを楽しまれる予定です。同夜は東山に一泊され、十四日の午前九時に御帰京されることになっています。

〃子供会L・K・に御参加下さい〃

◇子供会L・Kとは

子供会リーダー研究会です。子供会の運営の直接指導者の共同研修の会です。高校生以上の男女は入れます。詳しくは公民館にお聞き下さい。

× ×

★L・Kは若い熱心な子供会の指導者達によって結成され、子供会運営の向上技術の習得を目ざして、活潑な活動を開始いたしました。この会に参加する人は子供と接触し、子供会の実際の指導に当る若い男女で高校生以上ならよいのです。

そしてお互に話合い、指導を受け、円満な活動の出来る子供会を活潑に育てることを目的として居ります。事務局を公民館におきます。

（公民館）

もうすぐ一年生

入学通知書は二月中に配付

昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生れたみなさん方のお子さんが、この四月新しく小学校一年に入学されます。市教育委員会では、十二月一日現在で住民登録票により該当者を調査し、二月の初めごろにそれぞれ各保護者あてに入学通知書をお届けいたします。

住民登録にもれたり、十二月一日以後に異動された方には、通知書が届かないこともあるかと思われますので、市教育委員会又は新市の方は各支所の係員に連絡してください。

なお、病弱、発育不完全その他やむを得ないわけがあって、学校へ入れないと思われるお子さん、盲ろう学校に入学させようと思われるお子さんをお持ちの方は、必ずお届けになってその手続きをして下さる様ねがいます。

その他、通知書の配布もれやお判りにならないことは、市教育委員会か各支所の係員に御相談下さい。

（教育委員会）

あと一息！

歳末たすけあい運動

昨年十二月全県下に展開された歳末たすけあい運動に呼応して当市は「たすけあい」と「海外抑留同胞救出運動」を兼ねて一世帯十五円の募金目標を以って運動を開始しましたところ、昨年末にて二二二、二一四円の募金がありました。

然し募金目標は次の通りであり、県本部への送金は可能でしたが、地元配分については出来る限り貧困者への暖い贈物としたい考えで、配分は旧年末に行うことゝして目下未納付の町内に對して更に協力方お願いしている実状です。

市民のみなさんの御協力をお願いいたします。

× × ×

一、募金目標額

一五六、〇〇〇円
（歳末たすけあい）
七八、六〇〇円
（海外抑留同胞救出）
計二三四、六〇〇円也

二、配分予定

三九、〇〇〇円
（県愛の運動本部へ）
七八、六〇〇円
（海外抑留同胞救出県本部へ）
残額をたすけあい地元配分とする

なお、歳末たすけあい期間中別個に篤志者により十八件、六二、五二三円の寄附があり、これらは旧年末に正月用餅配分の資金として活用すべく計画中でありますが、衣類及び古雑誌等の二、二七四点は被要保護者に配分中であります。

子供会行事予告

雪の芸術まつり

二月中旬の予定積雪状態により決定します。詳細については事前に御連絡いたします。

凧上大会

三月下旬の予定、各子供会でたこの原理作り方等をよく研究しておいて下さい

御存じですか

図書館の利用

◎館内図書の利用

(1)館内での利用（図書館規則四条～七条）受付で閲覧カードをもらい、御自分の読みたい図書の名と、定められた事を書き入れて係へお出し下されば求められます

(2)館外の利用（図書館規則八条～一五条）もし自宅で読みたいとお思いの方々は、館外帯出カードをお求めになって御利用下さい。尚カードお求めの際は印鑑と米の通帳か身分証明書が必要です。

◎貸出図書及び貸出文庫の利用（図書館規則一六条～一九条）

時間的又は遠いため直接本館に来ていただけない方々のため、各種の団体やグループ単位毎に貸出しております。申込は代表の方が前もって係まで御連絡下さい

貸出期間は約三週間

貸出冊数は約三〇冊

※註　以上いずれについても定められた様式によって申出て下さい。（会津図書館）

進む農業

部落懇談会

農閑期を利用して稲作、その二毛作麦、土壌肥料、その他農業経営の改善を図るため、市では部落座談会を開催しております。希望の部落はお知らせ下さい。係員がおうかがいして懇談致します。

日程

一月二七日（月）午後一時東山町川渓、午後一時門田町公民館、二八日（火）午後一時大戸町石村、二九日（水）午後一時東山小学校、三〇日（木）午後一時町北町藤室、午後一時大戸町下雨屋、三一日（金）午前十時大戸町香塩、午後一時一箕町中学校（農政課）

PTAと就学前学級

PTAや学校活動の一部として、新に入学する児童とその父母を中心として就学前学級を開催してはどうでしょうか。市内の各小学校で入学前に身体検査を行ってもらっていますが、これは大そうよいことで、更にそれを拡充して父兄や児童に對して、

1、一日も早く学校になじませる。

2、兒童の健康と就学前の諸準備をととのえる。

3、幼稚園や保育園を終った子どもとそうでない子どもとの開きを調整する。

4、よいPTA会員となるための事前教育のためには、是非二日でも三日でもよいから試みに各学校で実施して見てはどうでしょう。（市教委・学校教育課）

〃清掃車の円滑な巡回に御協力下さい〃

新しい年とともに、今年こそは清掃の行届いた美しい街にしたいと係では種々努力していますが、市民の皆さんも私達の住む街から、伝染病其の他の病気を防ぐため、又訪れ来る客のためにもこの清掃事業に御協力下さるよう心からお願いします。

只今多量の降雪のため、その機動力が充分発揮出来ず、各家庭のゴミ箱は殆んど一杯になり係では、之等の清掃に一層の拍車をかけて努力していますが、何しろ市内全般に亘りますので短期間での処理は容易でありません。此の点皆さんも充分御理解頂き、箱に入り切れないのは空俵等利用してゴミ箱の附近に出して置いて下さい。尚こわれた箱や蓋のないもの等ありますが、衛生上又作業の能率上からも早速修理して頂きたいと思います。

蓋のない箱に雪が積りますと、非能率であり、又焼却不能になりますので必ず修理及除雪方御願いします。

（保健衛生課）

冬季市民体育祭

期日　2月2日（日）　午前9時

種目及会場
籠球～三中、四中体育館
卓球～若女高体育館
剣道～武徳殿
柔道～謹教小講堂

主催
会津若松市
会津若松市教育委員会事務局
会津体育協会

成人

まだ　だれも通らない雪の原
かがやく日の光に立って
自分の道を作ろうとする人の
まぶしい表情
大きな歴史のなかで
ひきしまったプランが
彫りこまれていく

成人文芸入選作品

成人の日を迎えるに當って

行人町五二　**佐野耀子**

　ふと空を見上げる、そこには無数の星がまるで宝石をちりばめたように輝いている。楽しいにつけ、悲しいにつけ、いつの頃からか私は星を眺めるのが習慣のようになってしまった。星はいつも非常に美しく、神秘的であった。じっとみつめていると、今さらのように尨大なる空間と、滞るところを知らぬ時間とを私に感じさせた。その無限の空間と永遠なる時間、私の社会観念はいつもそこから出発した。そうすると、そこには又、新たなる驚異と、社会に對する近親感とがひしひしと湧き出ずるのである。巨大なひろがりを持つ空間の中に、自分という一個の人間の存在する一地点、そして宇宙の尨大さに比すれば、ほんとうに狹い空間の中、それが自分の住む地域社会であり、それだけにその地域社会に住む人々が、如何に自分と深いつながりを持つかという驚くべき事実と、それらの人々とは、言葉こそ交さねど、いつも顔を合せているのではなかろうか――例えば道を歩いている時、或いは買物をする店先で―という近親感、このような社会の中に生をうけて、私は二十才の今日に到る迄成長して来たのである。幼きは幼きように、その成長の過程に於ては又そこに、いつも数多くの社会との関連を産み出しながら。

　私の成長過程に於て、私の最も大きな思い出はあの忌わしい戦争であった。連日連夜、心の平穏な時とてなく、私は人間の生きる本能の上に、私の小さな生命を守る事に精一ぱいであった。時の政府が、国をより有利に持っていこうとして躍起となっていた事等には考えも及ばなかった。早くこの戦が終ればいゝと、只それはかり念じながら、その日その日を過していた時代、そしてようやく終戦、しかし終戦と同時に従来の国の方針は一変した。それは学校にも影響し、男女共学、学校給食、六三制の実施、週五日制など、めまぐるしく変るその中で、次第に自分以外の事にも多少なりの注意がむけられるようになった私は、そこで改めて終戦を考え、その後の変転を反省した。そしてそこに、大きな社会の渦の中にもみまかれて生きているすべての社会人を見出した。

　さらに高校時代、ティンエイジャーと騒がれるこの時代は、実に成長への最もはげしい過渡期であった。社会の出来事の中に、良き事よりも、より悪き事を発見した私は非常に残念に思うと同時に、そうした社会のあらゆる事に反撥し、自分は社会と無関係であるかのような錯覚をすら起したのだ。自分の世界に閉じこもり、一本のエンピツ、一枚の紙、そして自分の生きていく上に必要なすべての物質は、社会が有ってこそ生産され、運輸され、自分の手に入るのだという事にさえ気ずかなかった。即ち社会に住む以上、社会から離脱する事は不可能であるという事実に背を向けていた私、自分がこゝまで成長したのは、ふとした病に倒れても大騒して看病してくれた両親を始め、数多くの社会の人々、先生、先輩、友人のあたゝかい愛の精神であったという事を忘れ、自分一人で成長したかのような錯誤におち入っていた私。

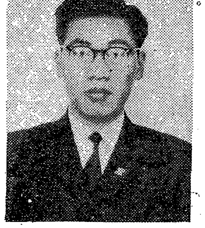
　だが、こゝに私も二十才の時を迎えるに至ったのである。私は、一人よがりの我まゝの世代、十代に別れをつげる事に何か一抹のわびしさを感じている。それは往くものに對する限りない惜別の心が、私をそうさせるのかもしれない。だがティンエイジャーと呼ばれ自らもそう自覚して生活し反撥しながらも多少なりの社会に對する甘えた気持から早く脱却して、正しい社会の一員になりえた喜び、さらにその上に社会人としての大きな自負と、社会に對する責任と、希望とがある反面、はたして負わねばならぬ責任を立派にはたしてゆく事が出来るであろうかという不安の入りまじった複雑なる気持の中で、これからの幾歳を、今度こそは誰の手足も借りずに、一歩一歩大地をふみしめて、眞に自分の手足によって自分の生涯をきりひらいてゆかねばならぬという大いなる抱負に胸の高なりを覚えるのだ。

成人文芸作品入選者名

入賞	佐野耀子	行人町五二
	細田今朝男	栄町一ノ七一
佳作（一席）	千葉イツ	神指町如来堂
	田中静子	博労町八六
	君島栄子	磐見町七八
	山田智子	中川原六七八
	三浦ミヨ	大戸町大川
	菅野佳子	川原町一〇六
	生沼武夫	上野伏町一一三
	芳賀英夫	材木町一三二
	半沢功	蚕養町二ノ三一
	渡辺忠昭	道場小路町一一

成人式を迎えて

栄町一ノ七一　**細田今朝男**

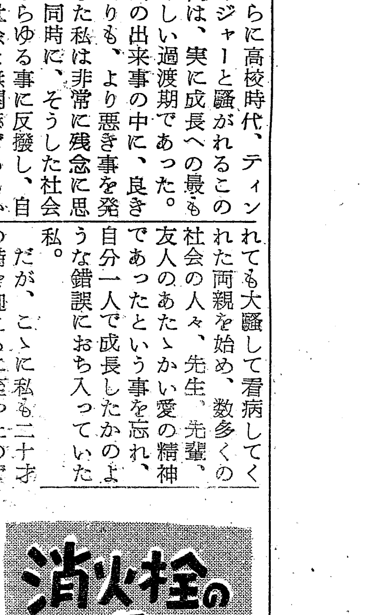


　戦後早や十二年の年月が過ぎ去り、今や国際情勢も複雑であり、人工衛星、その他数々の研究により、いよいよ進歩発達している今日、成人式を迎えるのですが、過去二十年間の思出や、希望の喜びで心の中はいっぱいであります。成人とは一体どう云う事だろうか、生れてから今迄、親の世話になって来た私達も一人立ち出来る権利を与えられる、しかし、同時に義務もあることを忘れてはなりません。この時が今迄は待ち遠しい様に思われたが今となるとこれもかえって不安です。過去二十年間と云っても今日になって見ると、昨日の様に思われて仕方がありません。月日の過ぎるのを早く感じます。

　思い出せば数限りない二十年間の思出が頭に浮んで来ますが、その大部分は小学、中学、高校と学生々活で暮らした、この時代の思出が多い。小学生頃は別として中学生頃は、ただ大人の世界への憧れを感じ、早く大人になって、自分の好きな仕事をやってみたいと考えました。学生時代諸先生の授業中、或いは学窓を巣立つに当って「社会と云うものは矛盾の多い所である。それは丁度浪風の荒い大海の様なものであり、小舟をどこに付けるかは船頭の腕一つである。」と云われた事を覚えております、しかしそう云われても「浪風の荒い社会」と云うものの様子を思い浮べる事が出来なかった。かえって世の中が、又大人の世界が困苦のない所であるとさえ感じられたのでした。これを今考え反省してみると、単に社会の表面だけを見、社会の見方のわからない当時の自分の考えであり、又静かな農村に生れ育った私の社会の見方であったのかもしれません。この当時は学生として友達を持ち勉強以外は考える必要のない時でもありました。しかし、そういつ迄もそうしておるわけにはゆきません。遅かれ、早かれ私達は実社会に仲間入りする時が来るのだ、その時こそ先生の云われた事が、本当かどうかわかるのだと思いました。

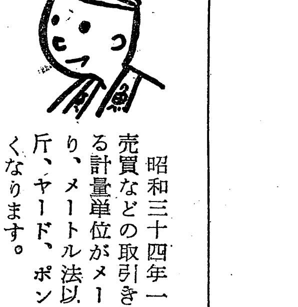
　高校卒業と同時に私は就職し、いよいよその事について身を以って経験しなければならない時が来ました。やはり教えの通りと云うか、自分の考えていた学生時代の社会と云うものがいかに幼稚なそれであった事か、現在の世の中に多くの矛盾がある事を知って、昔先生の云われた事を一つ〳〵裏書きする様に心に響いて来ます。以前子供の頃の様にもうすべてが割り切れなどしない、初めて入った社会でそれを誰に相談してよいやらと迷った自分でした。ある時はみな寝静まった室でただ一人考えにふけったりした、別に考えた所でどうなる事でもない事を承知で、ただ自分の気持を以前学生であった時の様に、静かに落付けたかったのかも知れません。誰れもが一度は通る苦しみ、悲しみを何の不自然もなく感じておるだけかも知れない、まだ私には不可解である。そう考えて行くともう成人式を済せ、世に出た先輩みなさんの苦労もどれ程であったかと察しられます。これを解決する事によって、一つ一つ自分が磨かれ成長して行くのであるのかも知れない、これも過ぎ去った事を顧りみて初めてわかる事であります。

　私がまだ高校に行っていた頃おじいさん、おばあさんが私に良く云った言葉があります。「この頃の若い者は、考え方が足りない、お前達の考えている様に社会と云うものはそんなに甘く、又世の中を渡ることは簡単なことではない。」と云った。この言葉も決して簡単に口から出たのではなく長い苦労と体験から生まれ出て来たものであると思います。この年老いた人達の言葉を良き教訓として、又来る成人式を機会として、どんな困難な問題につき当っても解決するだけの信念と勇気を持って、これからの日本を担う立派な一青年として社会に再出発する覚悟です。我々一人一人の力と云うものは小さいけれども、みんなの一致団結によって得る大きな力で、平和な住みよい文化日本、いや世界を作る事を心より希望し努力する覚悟です。



メートル法に切替えるには

100匁に近い400グラムを基礎に



　昭和三十四年一月一日から物の売買などの取引きや証明に使われる計量単位がメートル法一本になり、メートル法以外の尺、匁、貫、斤、ヤード、ポンドなどは使えなくなります。

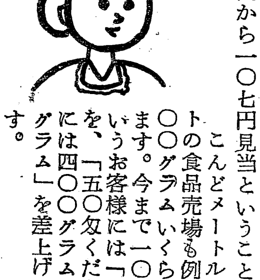
　ところで東京都は、昨年八月一日から全デパートがメートル法を実施しており、なかなかの良い成績をおさめております。最初のうちは多少まごついたようですが、今ではお客様もデパート側も馴れて、明るく朗らかな売場風景となり、なんらの支障も起っておりません。

　この機会に各商店街の菓子屋、乾物屋、八百屋、魚屋その他あらゆる食料品店のみなさんも、早くメートル法に切り替えていただいて、昭和三十四年になってまごつかぬよう、今から使い馴れていただきたいと思います。

　ではメートル法に切り替えるには「どうしたらいいんだ」とおっしゃる方もあろうと思われますので、次に食料品について、一般的な切替え方法について二、三のべてみましょう。

　食料品は水物（酒、醤油等）を除いてはごく特殊な場合以外ほとんどが目方売りが多い様ですが、日常生活に必要なものの目方売りは「一〇〇匁いくら」「一斤いくら」「一ポンドいくら」とそれにメートル法の「一〇〇グラム（或は一キログラム）いくら」の四通りが一番多く使用されているように思われます。そこで「一〇〇グラムいくら」はメートル法ですから問題ありませんが、一〇〇匁、一斤、一ポンドはどう切り替えたらよいでしょうか。

　今まで一〇〇匁売りの場合みなさん方は「一〇〇匁いくら」というのを一番多く使っておられると思います。一方お客様方も長い習慣で、一〇〇匁は〃これくらい〃と大体の分量をよくのみこんでおられますし、又家庭の食事がこの一〇〇匁の分量の見当から割出されますので、市民の大半がメートル法を憶え、そして充分馴れていただくまで、一〇〇匁に一番近い「四〇〇グラム」を基準にメートル法を使用することが適当だと思います。すなわち四〇〇グラムは匁に換算しますと一〇七匁弱となります。したがって假りに一〇〇匁一〇〇円のものは四〇〇グラムで一〇六円から一〇七円見当ということになります。



　こんどメートル法実施のデパートの食品売場も例外を除いて「四〇〇グラムいくら」を申合せています。今まで一〇〇匁くださいというお客様には「四〇〇グラム」を、「五〇匁ください」という人には四〇〇グラムの半分「二〇〇グラム」を差上げればよいわけです。